

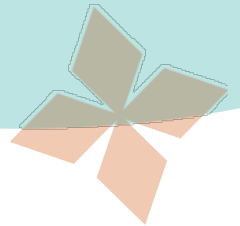
概要版

計画書本編はこちら



第2次花巻市 まちづくり総合計画 長期ビジョン

令和6(2024)年度～令和13(2031)年度



序論

計画策定の趣旨・役割

- 第2次花巻市まちづくり総合計画は、花巻市まちづくり基本条例に基づく、長期的な視点に立った総合的な市政運営の基本となる計画です。

計画の期間・構成

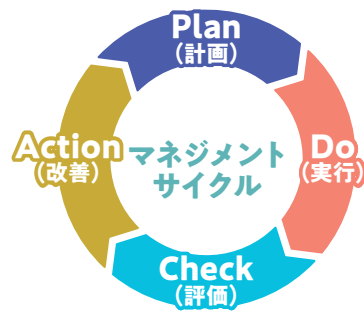
- この計画は、前計画である花巻市まちづくり総合計画の2層構造の計画体系を継続し、「長期ビジョン」と「アクションプラン」で構成します。

第2次花巻市まちづくり総合計画



計画推進の考え方

- 行政評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルを確実に機能させ、取組の成果の評価結果を市民と共有し、目指す将来都市像に向けた取組を着実に推進していきます。
- アクションプランは、社会経済状況の変化に対応するとともに、事業費等の時点修正を行うため、毎年度3年先までを見通したローリングを行います。



総合計画とSDGsとの関係

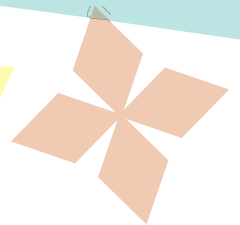
- 市は、SDGsの理念を踏まえ、各種計画の策定や事業計画の立案等を行うに当たり、当該計画等がSDGsに掲げる17のゴール(目標)のうちどれを達成することにつながるのかを明確にし、立案等を行うことで、SDGsの着実な推進を図るほか、市民一人一人はもとより、企業や地域等が実践できるSDGsの取組について、普及と啓発を進めていきます。



SDGsは、世界の国々で目指す国際目標。17のゴール(目標)から構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを基本方針としています。

第1章

花巻市まちづくり総合計画(前計画)の評価



市の政策に対する市民意識

※ 令和4年度市民意識アンケート調査結果

政策の『満足度』

- 1 防災危機管理体制の充実 44.1%
- 2 生活基盤の充実 35.1%
- 3 環境の保全 34.4%

政策の『不満度』

- 1 商業の振興 53.5%
- 2 雇用環境の充実 33.7%
- 3 農工商観連携の推進 29.6%

政策の『重要度』

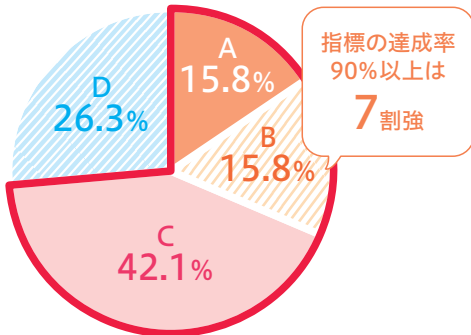
- 1 生活基盤の充実 78.0%
- 1 健康づくりの推進 78.0%
- 3 子育て環境の充実 76.6%

前計画の達成状況

※ 花巻市まちづくり総合計画に係る政策及び施策の評価報告書(平成26年度～令和3年度)

政策

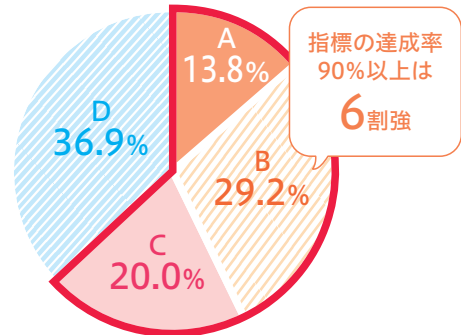
令和3年度全分野21政策のうち評価対象19政策



19の政策中(評価時点で最新の数値が未公表の2つの政策を除く)、政策の成果指標のうち半数以上の指標の達成率が90%以上である「A」、「B」、「C」の合計は73.7%(14の政策)となっています。

施策

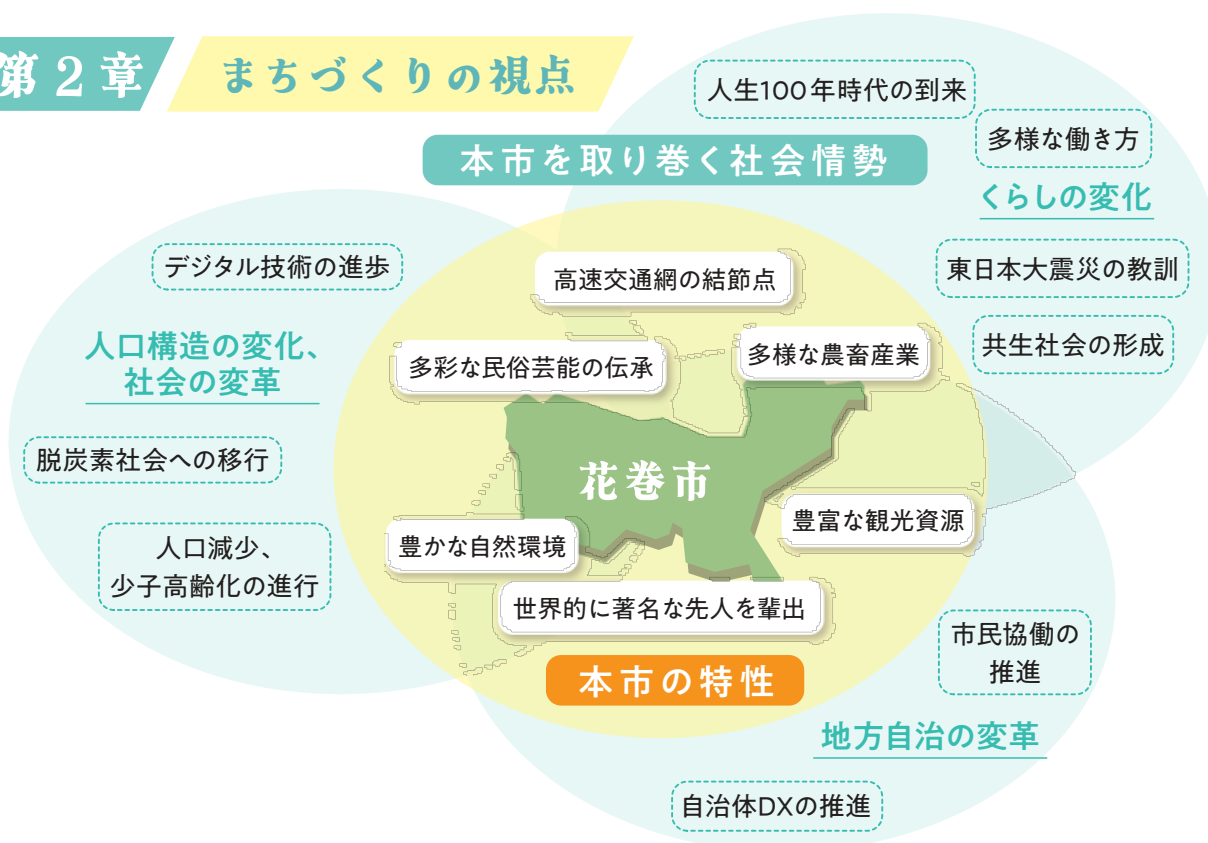
令和3年度全分野72施策のうち評価対象65施策

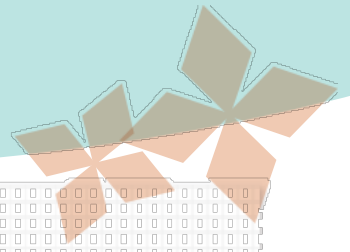


65の施策中(成果指標設定対象外の7つの施策を除く)、施策の成果指標のうち半数以上の指標の達成率が90%以上である「A」、「B」、「C」の合計は63.1%(41の施策)となっています。

第2章

まちづくりの視点





将来人口等の見通し

人口の減少が進むことが見込まれる中、人口減少対策を計画的かつ強気に推進し、減少のスピードを緩やかにすることを旨とする

財政運営

将来にわたり持続可能な財政運営を行う

- 毎年度収入される財源での収支均衡を目指す
- 収支均衡を基本としながら市債の発行や財政調整基金などを活用し、柔軟な財政運営を行う
- 財政調整基金は活用しつつも不測の事態に備え一定の基金残高を確保する
- 自主財源の確保と国県支出金など積極的な財源確保に努める

土地利用

持続的な発展に向けた適正な土地利用を図る

- 都市と農村が共存する特色を生かし、地域の自然的、社会的、経済的、文化的条件等を配慮
- 公共の福祉を優先させ、市民が安全、健康で快適に暮らすことのできる生活環境の形成を目指す

第3章

将来都市像

豊かな自然 安らぎと賑わい みんなでつなぐ イーハトーブ花巻

豊かな自然

早池峰山などの美しい自然、温泉等の観光資源などの豊かさと人々の暮らしが調和することを表す

安らぎと賑わい

安全、快適で誰もが安心して健康に暮らせるまち、多彩な産業の発展を表す

みんなでつなぐ

自然や文化、地域を、子どもたちを含む市民全員で未来へつなげること、市政にたくさんの市民が参画すること、人々のつながりや地域のつながりの深まりを表す

イーハトーブ花巻

「イーハトーブ」は宮沢賢治の造語“ドリームランドとしての岩手県”であり、花巻市はそのドリームランドを目指すことを表す

まちづくり分野

目指す姿

まちづくり分野の基本的な考え方

取組の方向

【1】しごと

多彩な産業が発展
みんなが笑顔で働くまち

農業をはじめ、商業、ものづくり産業、流通業や観光業など、本市の地域産業の成長を促進するとともに、地元で働きやすい環境づくりを推進し、市民が花巻で暮らし、生き生きと働くことができるまちづくりを目指します。

1-1 農林業の振興



1-2 商工業の振興



1-3 観光の振興



1-4 市内企業への就業の促進



【2】暮らし

安全で快適な暮らし
美しい自然と調和するまち

早池峰国定公園をはじめとした豊かな自然を大切に守りながら、利便性の高い社会インフラとのバランスを保ち、また防犯等の取組を進め、市民が安全で快適な暮らしを美しい自然の中で送ることができるまちづくりを目指します。

2-1 環境の保全



2-2 生活基盤の充実



2-3 日常生活の安全確保



【3】健康・いのち

つながりと思いやり
誰もが健康で安心できるまち

生涯を通じて誰もが心身ともに健やかで自分らしく安心して暮らすことができるよう、全ての市民が支え合い、助け合う環境づくりと、福祉サービスの充実のほか、市民の生命と財産を守るために災害などの危機に対地的確に対応できるまちづくりを目指します。

3-1 健康づくりの推進



3-2 福祉の充実



3-3 地域防災力の向上



【4】子育て・人づくり

子どもたちの笑顔
明るい未来をつくるまち

子どもたちが健やかに成長することができるよう、子どもたち自身とその家庭を支え、ここで暮らしたい、子育てしたいと感じることができるまちづくりを目指します。
また、生涯学習、スポーツ、芸術文化活動、文化財の保護と活用を通じて、市民が人生100年時代を心豊かに過ごすことができるまちづくりを目指します。

4-1 子育て環境の充実



4-2 学校教育の充実



4-3 生涯学習の推進



4-4 スポーツの振興



4-5 芸術文化の振興



4-6 文化財の保護と活用



【5】地域づくり

地域と人の豊かな個性
みんなで作る活力あるまち

地域活動を通して一人一人が個性と能力を発揮できるよう、市内各コミュニティ地区の特性を生かした個性豊かな地域づくりを進めるとともに、移住に対する支援を充実し、「花巻に住みたい」と多くの人に選んでもいただけるまちづくりを目指します。
また、市民が市政に積極的に関わることができ、お互いの価値観と多様性について理解を深めることができるまちづくりを目指します。

5-1 多様な主体による参画・協働の促進



5-2 移住定住の推進



【6】行政経営

デジタル技術を活用
効率的で持続可能なまち

多様化する市民サービスへの対応と業務効率を両立させるDX(デジタル・トランスフォーメーション)をあらゆる分野で進め、市民が利用しやすいサービスを提供するとともに、市民参画による行政評価に基づいた行政運営と、健全な財政運営による持続可能な市政運営を目指します。

6-1 効率的で質の高い行政運営



6-2 持続可能で健全な財政経営



施策展開

みんなで取り組みたいこと(抜粋)

1 農業生産の支援	2 生産基盤の整備	3 特産品の開発
4 森林資源の活用の推進	5 森林の保全	6 担い手の育成
1 魅力ある商業地域の形成	2 技術力・経営力の向上	3 起業の推進
4 企業誘致の推進		
1 観光の魅力向上	2 観光情報の発信	3 移動しやすい観光地
1 人材の育成・確保	2 勤労者福祉の向上	

【市民】

市内商業施設の積極的な利用や商店街等が実施するイベントへの参加など

【企業】

観光施設等による滞在型観光や観光資源のPR、特産品を活かした観光資源の創出など

1 地球温暖化の防止	2 自然環境・生活環境の維持・保全	3 公害の防止
4 循環型社会の構築	5 花のあるきれいなまちづくり	
1 道路環境の充実	2 公共交通体系の確保・整備	3 住宅の安定確保
4 汚水の適正な処理	5 安全で快適な公園づくり	6 地域における情報環境の整備
1 生活相談の充実	2 交通安全の推進	3 防犯活動の推進

【市民】

地域活動に参加し、活動を通じた住民同士のコミュニケーションを形成するなど

【企業】

省エネルギーの取組と周辺環境と調和のとれた再生可能エネルギーの導入、ごみの分別の徹底による減量化とリサイクルの取組、公害防止対策の徹底など

1 健康づくりの支援	2 母子保健・周産期医療の充実	3 地域医療の充実
1 地域福祉の推進	2 高齢者福祉の充実	3 障がい者福祉の充実
1 危機管理体制の強化	2 自然災害対策の強化	3 消防力の強化
4 救急救助体制の強化		

【市民】

災害に備えた非常食、資機材等の備蓄、住んでいる地域の避難場所の認知、災害発生時に備えた避難、連絡方法の確認など、個人や家庭における自助の取組など

【企業】

福祉事業者による良質な福祉サービスの提供など

1 子育て支援の充実	2 家庭の教育力向上	3 就学前教育の充実
1 学力・体力の向上	2 豊かな人間性の育成	3 特別支援体制の充実
4 教育環境の充実		
1 生涯学習の充実	2 地域の生涯学習の推進	3 国際理解と友好都市交流の推進
1 生涯スポーツの推進	2 競技スポーツの推進	3 大規模スポーツ大会の開催
1 芸術文化の振興	2 先人の顕彰	
1 文化財の保護と活用	2 民俗芸能の伝承支援	

【市民】

児童生徒の安全のための見守り活動への参加や体験学習(地域学習)における講師、コミュニティ・スクールへの参画など

【企業】

育児休暇制度の整備拡充や柔軟な勤務時間の設定、各種子育て支援事業の実施など

1 地域コミュニティ活動の充実	2 市政への参画と協働の充実	3 公益的活動への支援
4 男女共同参画の浸透及び多様な性への理解促進		
1 移住定住支援制度の充実	2 移住者と地域との交流の場等の創出	

【市民】

市政懇談会等、市との対話の機会への参加や、ボランティア活動、NPO活動への参加、参画・協働社会への理解促進など

【企業】

企業ボランティアなど積極的な社会貢献や、市との協働事業の実施、男女共同参画社会を推進する環境づくりなど

1 自治体DXの推進と人材育成	2 わかりやすい市政情報の提供	3 広域的な連携の推進
1 適正な財政運営	2 自主財源の確保	3 市有財産の適正な管理

【市民】

オンラインの積極的な利用による市役所窓口での手続きの負担軽減など

【企業】

ホームページや広報などの媒体を通じた市政情報の積極的な収集など

市では「人口減少」を最も重要な課題と捉え、第4章で示した6つのまちづくり分野の政策を横断的に推進する「重点施策推進プロジェクト」を設け、次の2つのプロジェクトによる人口減少対策に取り組むことにより、将来都市像の実現を目指します。

プロジェクト1

子ども・子育て応援プロジェクト

妊娠・出産・子育ての一連のステージにおいて、子どもや子育て世帯に対する切れ目のない支援を通じて、子どもを産み育てたいという希望がかなえられ、子どもが健やかに成長できる環境づくりを行うことで、本市の少子化傾向に歯止めをかけることを目指します。

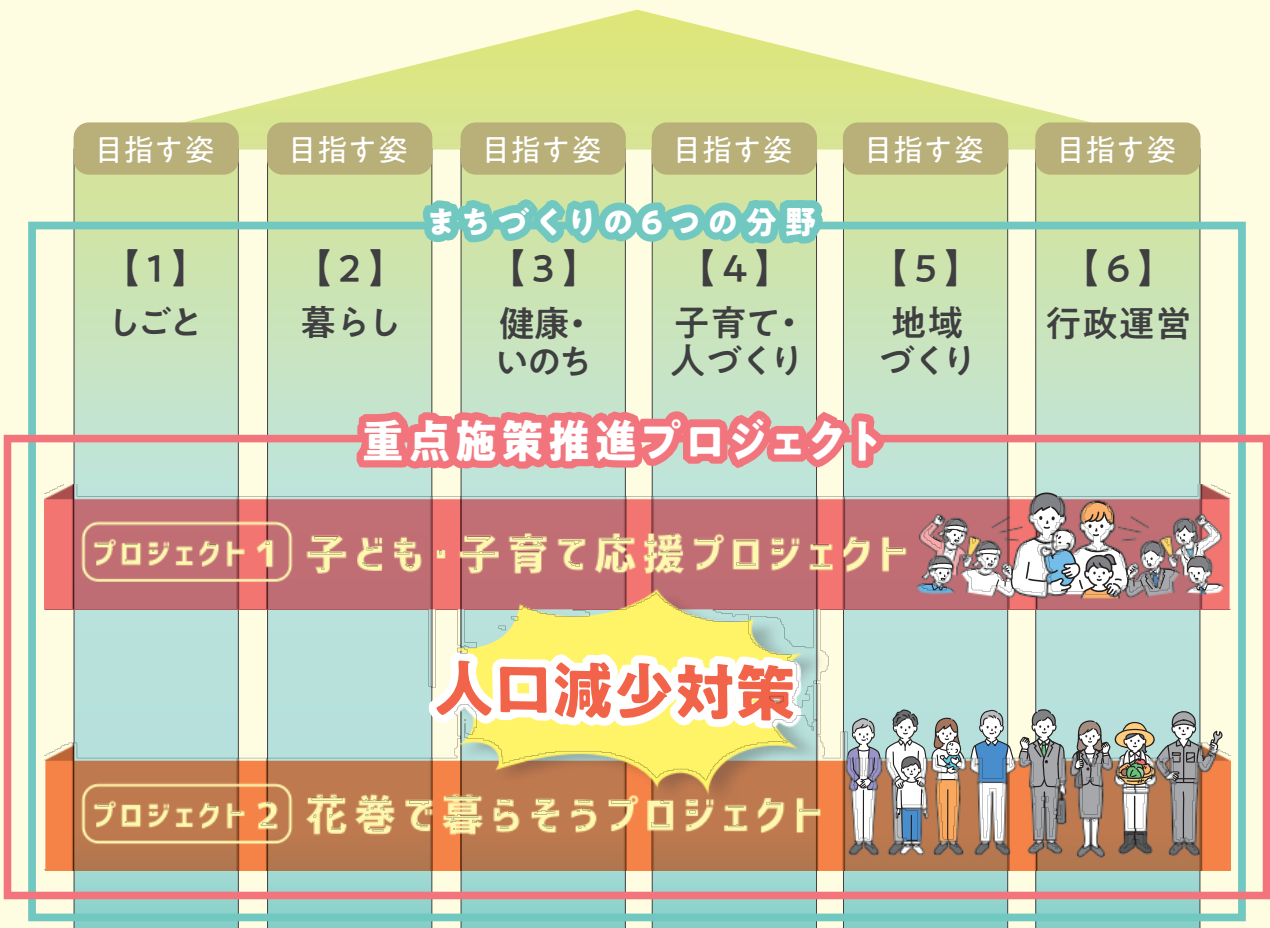
プロジェクト2

花巻で暮らそうプロジェクト

結婚や住居、移住や子育てなどの支援を充実させることでの若い世代を中心とした定住の促進と併せ、中心市街地の活性化、地元で働く場の確保などに取り組むことで、若者や勤労世代が、「住みたい」「住み続けたい」と感じる、魅力と活力に満ちたまちづくりを目指します。

第2次花巻市まちづくり総合計画の「6つの分野の柱」と「重点施策推進プロジェクト」のイメージ

将来都市像



プロジェクト1 子ども・子育て応援プロジェクト

プロジェクトの内容

プロジェクトで目指す姿

1
妊娠・出産・
子育てに関する
相談・支援体制の充実

- 妊産婦や保護者が気軽に相談できる窓口のICT活用や外部組織との連携を含めた機能の充実
- 相談を受けて関係機関と連携し、必要な支援につなげる体制の充実

- 妊産婦や保護者が気軽に相談できる環境が整い、必要な支援が受けられています。

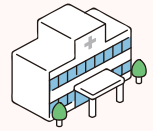


2
周産期医療の
維持確保



- 市内の産科医療を確保するための取組
- 岩手県立中部病院の産科医療体制の維持及び小児科機能の拡充について岩手県及び岩手県立中部病院へ要望を継続
- 妊産婦の産科医療機関等への移動に係る支援
- 産後ケアについて、事業者と連携し宿泊型サービスの提供を含むサービスの拡充に向けた取組

- 市内及び中部地域の産科医療機関が維持されるとともに、妊産婦の産科医療機関への移動支援や産後ケアが充実し、安心して子どもを産むことができる環境が整っています。



3
妊娠・出産・
子育てに係る
経済的支援の充実



- 不妊治療に係る費用、子ども及び妊産婦の医療費、各種ワクチン接種にかかる費用、保育料や副食費への支援
- 就学援助制度の対象者の拡充、給付型奨学金の拡充の検討

- 妊娠から子育てまでの期間を通じた経済的な支援により、安心して子どもを産み、育てることができています。



4
子どもの
貧困対策



- ヤングケアラーや家庭環境の実態把握に努め、支援が必要な子どもや保護者の早期発見による効果的な支援の実施
- 子ども食堂やフードパントリー等への支援を団体の意向を勘案して実施

- ヤングケアラーの状態にある子どもや経済的支援を必要とする子どもに対し、必要な支援が行われています。



5
子どもの
学習支援



- 経済的支援を必要とする世帯の児童生徒を対象とした学習支援
- 不登校児童生徒が学習へアクセスできる環境として、適応指導教室の充実、民間フリースクールの利用、ICTを活用した家庭学習への取組を支援

- 経済的な支援を必要とする世帯の子どもや不登校児童生徒が、学習に対する意欲をもって生活できています。



6
子育てしやすい
環境の充実



- 保育士の確保と効果的な配置による保育施設の待機児童の解消、子どもの一時的な預かりに対応できる体制の整備、適正な保育環境を提供するための公立保育園等の在り方の検討
- 学童クラブの放課後児童支援員の確保や民間事業者との連携による受入の拡充、施設の充実
- コミュニティ・スクール等との連携による放課後の子どもの居場所づくりの拡充の検討
- 地域子育て支援センターやファミリー・サポート・センター等、保育施設以外の子育て支援施設におけるサービスの充実
- 公園の芝生化や地域の拠点公園の遊具等の充実、屋内で子どもが遊べる施設の整備について検討

- 保育を必要とする保護者が保育施設や学童クラブを利用できているほか、放課後の子どもの居場所も確保され、保護者が働きながら安心して子育てできる環境が整っています。
- 地域子育て支援センター等の子育て支援施設におけるサービスが充実し、地域で子育てする環境が整っています。
- 安全で快適な公園や屋内の遊び場の整備が進み、子どもが安心して遊べる環境が充実しています。



7
職場の
理解促進

- 職場における育児休業の取得やワーク・ライフ・バランスについての啓発を促進

- 妊娠や子育てに関する職場の意識が向上し、仕事との両立が図られています。

プロジェクト2 花巻で暮らそうプロジェクト

プロジェクトの内容

プロジェクトで目指す姿

1
移住・定住に関する
相談体制の充実

- 市民や団体と連携し、移住・定住を希望する方への相談体制の充実
- 本市の魅力を広く伝えるためのより効果的な情報発信

- 移住・定住を希望する方に対する相談体制の充実と、効果的な情報発信により、移住相談者が増加しています。



2
移住・定住
支援の
充実



- 空き家バンクの充実、空き家バンク登録物件を活用する場合の補助金交付
- 国の移住支援金制度を活用し、東京圏からの移住者に対する経済的支援を実施
- お試し移住のための施設整備等の検討、移住後の起業に係る支援制度の構築

- 移住・定住者の住宅取得等に関する経済的支援が充実し、移住・定住者が増加しています。
- 移住希望者や移住者のニーズが多い施設や、国の制度等を活用した起業支援の制度などが整い、移住者にとって魅力的なまちになっています。

3
結婚支援の充実

- 岩手県や市内の結婚支援団体の活動を支援
- 移住者を含む若者世代等の結婚に伴う経済的支援の充実



- 結婚を希望する市民が気軽に相談できる環境が整備され、さらに結婚に伴う経済的支援が充実することで、若者世代の定住の増加が図られています。

4
魅力ある
商業エリアの創出



- リノベーションによる空き店舗の活用、公園等の公共空間を多様に活用できるようにする
- 市内に形成されているショッピングモールのほか、新たな店舗の誘致等による、市民の買い物ニーズに応えられる環境づくり

- リノベーションにより魅力的な店舗が増え、多様な活用と相まって、若者世代にとって魅力的な商業エリアが形成されています。
- 市民の買い物に対する満足度が向上し、若者世代にとっても暮らしやすいまちになっています。

5
働く場の確保と
所得の向上



- 産業団地の整備により、市内への進出を希望する企業が立地できる環境を整備
- 市内企業や事業所への就職に結びつく情報提供
- 国の制度によるUIJターン者等が市内で就業した際の奨学金の返済支援制度の構築の検討
- 市独自の保育施設、介護サービス事業所、産科医療機関への就職者等に対する奨学金の返済や家賃支援

- 産業用地の整備により企業の立地が進み、就職先の選択肢が増加しているほか、市内企業による情報発信が充実し、地元で働くことを選択する市民が増加しています。
- UIJターンで市内に就職した若者世代や、市が指定する職業に就いた若者世代に対する奨学金返済への支援等が充実し、移住・定住者が増加しています。

6
企業や地域の
意識改革の
推進



- 妊娠や子育てに伴う休暇の取得や勤務時間の調整など、企業の意識啓発や各種補助制度の積極的な周知
- 企業や地域への講座等の実施を通じた、ジェンダー平等や性的少数者(LGBTQ)への理解促進
- パートナリシップ制度の整備



- 市内企業において、子育て等への理解が深まり、子育て世代が安心して就業することができています。
- 市内企業や地域においてジェンダー平等や性的少数者(LGBTQ)への理解が広がり、女性や若者をはじめ多様な価値観を持つ人々が負担を感じることなく、市内で生活できています。

7
シビックプライドの
醸成

- NPOをはじめとする市民の活動に対する支援
- 子どもたちが世界への眼を開くための国際姉妹都市等への中学生、高校生の派遣の取組

- 市民が花巻に愛着を感じ、本市に定住する人が増加しています。

